
i n g...現在進行形

c o m o

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ing: 現在進行形

【Nコード】

N5157C

【作者名】

como

【あらすじ】

大人になって、自分が発達障害だと知って…今までの自分が理解できたり。ハラハラしたり落ち込んでみたりの毎日。

コレもありかなあ

それは、自然な形で受け止められた。医師の告げたのは、

「あなたは、ＡＤＤ的な脳の器質を持っている」

「大人の発達障害…多動性注意欠陥障害」

発達障害は、最近よ

く聞かれるが…まさか自分がそうだとは、思ってもみなかった。

「あれは子供の時にみられるが、たしか十三才ぐらいで治まる」と、言われてきた。

コレもありかなあ（後書き）

そのうちなんとかなるかもねえ

落ち着くためにはアイスクリーム

さて、そういえば思い当たることは子どもの時からあった。

「気が散りやす

い」

「成績に極端なばらつきがある」

「大人の喜びそうな振る舞いができない」

「ぼんやりしている」

「どこか抜けている」…

その結果、私の学校生活は、どうもちぐはぐした記憶の彼方にある。

話が合う友人はいなかったのほとんど

級友とは話さなかった、いや…自分が

「何を話したら良いのか」自分でも見当がつかなかったのだ（笑）

私は

「読書好きで、いつも絵を描いている肥満児」で

「変わった少女」でいた。なぜ肥満児なのかというと。

私の脳は、退屈に弱い。だから、何かを食べている時は、脳が落ち着くわけで…そんなわけで、私は幼稚園児のころから肥満児と呼ばれていた。特に、アイスクリームには目がない…今でもネ。

脳が、落ち着くしまとまる感じも

するのだ。

今でも、食べ始める

と、頭が安定する感じがする。これは依存性があるので、死ぬまで用心しなければならないのだ。自分の食欲をコントロールすること、この脳の器質を授かったおかげなのかもしれない。多分、人にとっては気分転換なのだろうが、私の場合は、アイスクリームに集中することで安心感を得ているように思っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5157c/>

i n g...現在進行形

2010年10月11日00時21分発行